



ふるさと会よりご報告

会長（高松市観光大使）



池田 克彦

皆様お元気の事と存じます。
ふるさと会活動に対するご支
援有難う御座います。

このたび、3月11日東日本大震災により犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に被災された方々のお見舞い心より申し上げます。一日も早く復興復旧を希望する次第です。さて前号に続いて活動報告を致します。2月・3月・4月役員会と関西ふるさと会の会合の実施。2月13日14日塩江町・高松市役所・高松大学を訪問。3月22日23年度事業の件で高松市役所・塩江支所を訪問。12月4日京都岩倉のまつたけ十字軍運動拠点を見学、翌年4月1日再度京都岩倉のまつたけ十字軍運動拠点を地元塩江町有志と当会員計5人で訪問、責任者吉村文彦氏と面談し活動状況の見学。4月16日別海・東京ふるさと会総会に参加。次に県・市の動きをご案内します。香川県23年度当初予算が発表されました。4275億円（前年度比0.9%減）元気の出る香川・安心できる香川・夢と希望あふれる香川の事業を行うとしています。香川県としての東日本大震災に関する支援状況を紹介します。人的支援として、医療チームの派遣、給水車の出動、緊急消防援助隊の活動、広域緊急援助隊等の派遣、陸上自衛隊第14旅団の災害派遣（女川町周辺）保健師等の派遣、救護班（医師、看護師）の派遣、災害ボランティアの派遣など。物資等の支援として、救援物資（毛布・紙おむつ・簡易トイレ・乾パン・アルファ米・飲料水等）災害見舞い金等。被災者受入の対応として、公営住宅等の無償提供、一時避難所の提供等。経済活動による復興支援として、復興支援物産フェアの開催、被災地企業（研究開発・工場）の移転支援等があります。4月10日県議会選挙が実施されました。高松市定数15に対し22名立候補、綾田福雄氏、三野康裕氏が当選。自民6、公明・民主・共産各2、社民1、無所属2の結果でした。高松市23年度当初予算が発表されました。一般会計1499億円（特別会計925億9655万：企業会計395億2241万）高松市地球温暖化対策実行計画が策定されました。2020年までに温室効果ガス削減目標基準年比（1990年を基準年）25%削減。11月7日・13日・14日第34回塩江もみじまつりでアマゴ釣りや丸太切り大会が開催されました。第24回高松冬のまつりが12月18日より実施されました。都市の循環サイクルを形成するため新しい高松市総合都市交通計画が策定されました。12月定例議会で地元の佐藤市議員が、塩江温泉郷への観光客誘致に対する具体的取り組み方針を質問。塩江地域の観光振興を重点施策の一つに位置付け、今後地元が力を注ぐ新たな特産品の

開発などへの支援や体験観光、韓国からの教育旅行誘致の継続など同地域の観光振興に積極的に取り組む。として市側は答弁しました。4月1日から市の組織機構が変わりました。高松市民病院塩江分院（旧塩江町病院）は病院局（病院部廃止）所属。高松市としての東北地方太平洋沖地震に関して支援状況を紹介します。親善都市水戸市への救援物資（毛布・米・水等）、市消防局緊急消防援助隊として派遣、応援給水隊の支援活動、石巻市・福島県・郡山市・いわき市への支援物資（カップ麺・毛布・米・水・紙おむつ・簡易トイレ・ゴミ袋等）義援金受付など実施。4月24日高松市長と市議会議員（定数40）の選挙が実施され、大西市長が無投票で当選、市議会は塩江町出身の佐藤好邦氏が上位8位の当選で大朗報です。本人はひろん塩江町民・関係者が頑張りました。自民24、公明6、無所属6、民主2、社民・共産各1の結果となり合併町で庵治町が残念ながら議席ゼロとなりました。

特集 ふるさと再生にかけて

京都まつたけ山再生運動見学

ふるさと会会員 池田 克彦

ツリーハウス・松茸山再生・塩江新米コシヒカリ普及（今年1200kg依頼）などふるさと町の町興しの一助を皆で始めた。その中で松茸山の再生取り組みをご紹介します。4月1日、12月続いて会メンバー3人と地元松茸山に興味を持つ仲間2人（後藤安宏さん・稲田末広さん）と京都駅で待ち合わせ、京都山科区にある岩倉村松地区を訪ねた。まつたけ十字軍・まつたけ山復活させ隊の活動拠点である。山が3つあり、それぞれボランティアで松茸



再生の為、リーダーである吉村文彦氏（生態学・京大農学博士）の指導のもと、30数名が山の地肌を掻き木を伐採し光と風を取り入れ作業をしている山に案内で出かける。松茸が出るのはいつ頃になりますかと尋ねたら、早くて5年先か20年先の孫の時代だな。こともなげに返事が返って来た。試しに地肌掻きを30分ぐらいやってみた。落ち葉が堆積し中は腐食して根が張って簡単に剥げない。途端重労働にな



って汗が出てきた。5人は夫々慣れぬ体験して松茸山再生がそう簡

単ではないことを感じ取った。山から本部場所に戻り近隣の畑作や小屋の修理や新しい工作場作りをボランティアの人たちが従事している。各人自由に従事しているが、統制がとれて雰囲気は素晴らしい。吉村文彦氏との面談、松茸山も夫々表情個性があるらしく再生させる為には、山の状況特性があるのでそれを把握して処方箋を決めるとの事であった。塩江の山を診断戴き管理・手入れのやり方を教えていただく事で塩江町に同氏を5月お招きすることになった。ふるさとの松茸山を再生することはチョットした町お越しになるのではないかとひそかな期待がある。特に地元の人と連携し山を管理して貰えることは有難い。関東から関西から塩江に足を向けていただければそれでいい。この事業はふるさと会が後援し地元の仲間と私の会社が主体になればと思っている。関西から関東から無料会員を募りこの秋に収穫が得られ、遥か忘れてしまった昔の松茸の香りに接しできればと虫のいいことを考えている。東日本の被災を思えば幸せである。（相模原市緑区在住）

塩江のまつたけ

後藤 安宏



先般、池田会長から「ふるさとで何か夢のあることを行いたい」中学生の頃いたる所でまつたけがとれていた塩江で「まつたけ山の再生をしたい」とのお話があり、京都で再生中の松林を4月初めに現地を訪れ見学させていただきました。



① 参加者の皆様 ②まつたけ研究者の一人者吉村文彦先生（左から3人目）と参加者の皆様 ③ 松林再生に取り組まれている皆様から現場でのご指導をいただきました。（再生体験）



塩江に戻り、安原、塩江、上西地区の赤松林を調べてみましたが残念ながら国道193号から望める山には、松の木は皆無の状態

ありました。安原と塩江の海拔の高い所にほんの一部と上西にはそれらの場所よりは多く樹生が見受けられました。しかし、上西地区も古木が多く又、年々山の荒廃が目立ちその収穫も極わずかの地域の方のお話です。写真の様に至る所が竹、竹で覆われ子どもの頃松がそよぎ緑豊かな自然は、残念ながらこの安原地区のどこにも今は見ることが出来ません。なぜ、松がこの様な壊滅的被害を受けたのか、それは松くい虫『松材線虫病』の被害、こ

れは昭和 46 年頃から始まり、そのピークは 56 年であったとの事が報告されております。今思うと 46 年ころにはまつたけの収穫もかなり減少していた記憶があります。さて、まつたけ山の再生についてでございますが、ご存じのように塩江町は面積の 84% が山林であり、香川県の土地や気候は松の成長に適しているとされており、これの取り組みで将来再び松がなびき、年中山も濃い緑につつまれ、秋には松茸狩りが楽しめる夢のような試みで多に賛同出来るものです。短期間で出来るものではなく克服する問題点も多くあるものと考えますが、山を復活させる思いは池田会長と同じ気持ちであります。

(高松市塩江町安原在住)

高松・塩江ツリーハウス体験場について



ふるさと会 青年部 渡邊 剛至
前回(なにしょんな第 20 号)、ご紹介させて頂いた「ニューツーリズム」計画からより具体的な事業として「高松・塩江ツリーハウス体験場」

事業を 3 月 19 日からスタートしました。東北地方太平洋沖地震発生後の震災の中での開催ということで観光向けとしては、非常に厳しい状況ですが希望と確信を持って望む所存です。「高松・塩江ツリーハウス体験場」の事業目的に「持続可能な社会」創りがあります。森林や里山のライフサイクルを持続可能な社会として認識し、将来や次世代へ繋げることが最初の取組みとなります。高松市塩江の山林、里山文化は、まさに相応しい環境です。「持続可能な社会」の取り組むべき課題として「低炭素社会」「循環型社会」「共生社会」が挙げられます。「低炭素社会」への取組みとしては、まずは簡単にできることから始めていきます。ツリーハウス体験場内にある間伐材をエネルギー資源として活用する為、煮炊き、ドラム缶風呂の熱源等で使用し体験場内の光熱費 0 円生活で何処まで豊かになれるかを目指します。間伐材を薪として燃やしたら CO₂ を排出するじゃないかと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが「カーボンニュートラル」という吸収した CO₂ と排出した CO₂ で±ZERO とする考え方です。間伐材の活用は、森林整備としても良く水源涵養や生物多様性、引いては土砂災害の予防などにもつながり経済的にも効果があるとされています。「循環型社会」への取組みとしては、ツリーハウス体験場で郷土料理を中心にサービスさせて頂いてます。例えば「しっぽくうどん」を地元野菜など皆で調理してその場で食す地産地消の形態を採ることで無駄な流通経路や過剰包装などが節約できます。食育の一環としても皆で 1 つの料理を作り、分け合い、食することは、社会性を養います。何よりも山の中で食べる料理は、最高に美味で幸せな気分になれる。これだけでも通いたいと言ってくれるお客様がいらっしゃいました。嬉しい一言です。「共生社会」への取組みは、思想やイデオロギーの話ではなくローカルから始められる地域社会創りをここではさします。人間だけでなく生物と生活の調和をライフデザインとして基底にし、教育面では懐古主義ではなく古くから伝わる文化や言い伝えも含めて地域に根ざした「真に必要なもの」を継承

し残しながら新しいテクノロジーや考えを取り入れた共生社会の構築が望まれます。この共生社会の実現が強い地域社会の競争力や発展へ繋がることになるでしょう。ツリーハウスの作り方から体験を通じて学ぶことは、森林の現状と未来に向けての在るべき姿から人間や地域がどのように持続可能な社会を形成するかのスタートとなります。一人一人のご参加や協力がいずれ大きな力になることを確信しています。追伸：宣伝ですが高松・塩江ツリーハウス体験場がテレビで紹介され、4 月 16 日午前 7:45～午前 8:00 の間「おはよう四国」の番組内で NHK 高松放送局アナウンサー宮崎 慶太 君による体験レポートとして放送されました。ケイタ・ハウス(ツリーハウス)の作り方を基礎から始めて完成まで最後にオリジナルの鳥の止まり木まで作成



します。未経験者でも森のツリーハウス職人？になれるかも！？何はともあれ楽

しい様子がお伝えできればと思います。残念ながら放送エリアは、四国 4 県(香川県、徳島県、高知県、愛媛県)に限定され当日ご覧になれなかった方、ご希望の方に、番組の放送分を DVD にして無償でプレゼントいたします。送付先ご住所、ご氏名、DVD 応募と明記の上お申込ください。更に番組を見て「高松・塩江ツリーハウス体験プログラム」へご参加ご希望の方には、「番組見たよ」とお申込時にお伝え頂ければ参加費 20% オフにて割引させて頂きます。お仲間、ご家族で、職場の同僚と、森林で企画を考えている方などもちろんお一人様での参加もできます。お誘い合わせの上、是非、お申込ください。森林が皆さんをお迎えます!! 詳しくは、ホームページ【<http://sd5.jp/>】までよろしくお願ひします。(東京都稲城市在住)

こだわりの美味しい米作り



赤松 利幸

私は 15 歳の時に父を亡くして以来、父に代わって 40 年余り「あきたこまち」や「ハエヌキ」、「コシヒカリ」など美味しいと評される良質米を地元の誰よりも早く取り入れた米づくりをしています。塩江は良質米が出来る好条件が揃っており、高松市内でも「塩江米は美味しい」と高い評価を得ています。塩江は①標高が高く緑が豊富で朝夕の寒暖の差が大きい。②ミネラル豊富な清流で生活排水による余分なチッソ分が入らない。③谷あいの砂質土で排水性が高いなど、美味しい米の産地で有名な新潟県魚沼に似た環境にあります。私は、このような好条件を最大限に活用するために勉強や工夫、試行錯誤を繰り返しています。私の米作りは、農薬や化学肥料を究極に押さえ、より自然で環境に優しい栽培を心がけており、稲刈りが終わると誰よりも早く田を耕します。更に 1～2 ヶ月毎にトラクターで何度も耕すことによりワラと土が混ざり合い、減農薬で増えた土中のバクテリアやミミズ

がワラのほとんどを分解し、翌年の肥料として稲の成長に活かされるのです。また、分解されるワラのおかげで肥料は極端に減らすことが出来るのです。私が作るコシヒカリの肥料は主に鶏糞で、田植え直前に 10 アール当たり 150kg 施すだけです。温暖化による高温対策として 5 月末から 6 月初旬と通常よりも 1 ヶ月ほど遅い田植えをします。苗の本数も 2～3 本程度と通常の半分以下にしています。このことにより、茎の徒長が押さえられ、太い株に育つことから倒れにくい、しっかりとした稲になることに気がつきました。追肥も出穂 40 日前後に反当り 20kg 程度与えるだけで十分です。また昨年はヒマワリを 3 万本ほど休耕田



に咲かせ、種を採った後トラクターですき込み、23 年産「特別栽培ヒマワリ米」の肥料とするための準備を進めています。このヒマワリ米は私の研究の一環ですので生産面積は少ないですが、安心安全で究極の美味しさだと思われま。今年特別栽培米を含めコシヒカリの栽培面積を 1.4 ヘクタールに増やす予定で、約 6.5 トンの収穫が見込まれます。また、美味しさを保つために大型の低温冷蔵庫も導入しました。首都圏や関西周辺の方々にも安心安全で美味しい「農家直送の塩江米」や「特別栽培米」を 1 年中、お安く提供できるものと思ひますので、ご希望の方は「高松・塩江ふるさと会事務局」までお問い合わせ下さい。

(高松市塩江町塩江在住)



事務局よりお知らせ

- ① 23 年度個人会費 ¥2,500 納入お願い。郵便局 振込口座記号 00150-2 : 口座番号 196649 : 加入者名 (口座名) 首都圏ふるさと塩江会。法人会費 1 口 5 万 1 口以上。カンパ受付 ¥1,000～
- ② 総会 6 月 25 日 (土) 11 時よりグランドアーク半蔵門で開催。千代田区隼町 1-1 地下鉄半蔵門線麴町駅下車徒歩 3 分 電話 03-3288-0111 多数のご参加お願いします。別途ご案内。
- ③ 創立 20 周年記念行事 6 月 26 日 (日)～6 月 29 日 (水) 北海道 (道東) 別海町訪問の旅 塩江町有志・別海ふるさと会との合同旅行。別途ご案内で別紙申し込み下さい。ふるさと会より会員に対し旅費を補助予定です。
- ④ ツリーハウス・松茸山再生運動会員募集中。松茸山手入れ参加者には松茸プレゼント。事務局に申し込みください。

編集後記

ふるさとの町興しでツリーハウス・松茸山再生・塩江米 (コシヒカリ) 出荷を支援します (新米依頼受けます。事務局へ) ふるさとが少しでも賑わい潤えればそれだけでもいいと思ひます。次号は今秋発刊を予定します。(編集人 渡邊 剛至)